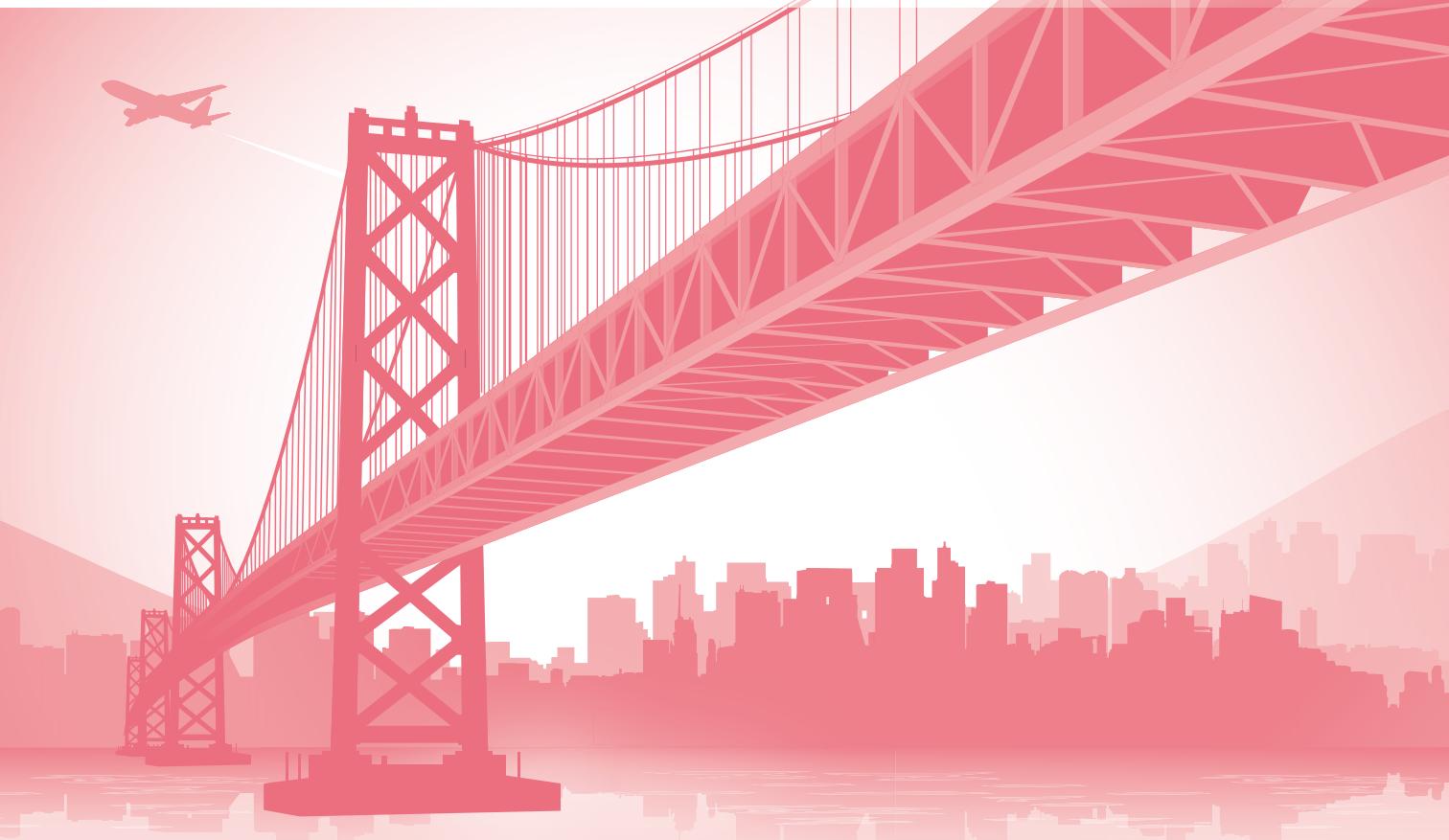


第66期中間報告書

KONDOTEC REPORT

平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第66期第2四半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

代表取締役社長 近藤 勝彦

当第2四半期の連結経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資は堅調さを維持するものの、住宅投資は横ばい圏で推移していることに加え、オリンピック関連事業の顕在化もあり、長引く人手不足による物件の進捗遅れは解消されず、建設需要は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、産業資材、鉄構資材、電設資材の各セグメントにおいてユーザーのニーズを的確にとらえ、付加価値の高い製品の開発と商品調達機能をさらに強化し、事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,653百万円(前年同期比5.0%増)と増収になりました。

利益面につきましては、仕入原価の上昇による売上総利益率の低下や、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、営業利益は1,665百万円(同1.4%増)、経常利益は1,711百万円(同0.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,139百万円(同1.5%減)となりました。

売上高
256億53百万円
(前年同期比 +5.0%)

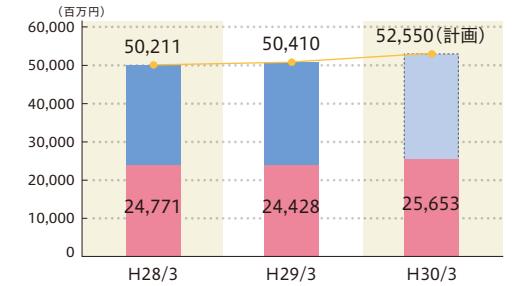
営業利益
16億65百万円
(前年同期比 +1.4%)

経常利益
17億11百万円
(前年同期比 △0.1%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
11億39百万円
(前年同期比 △1.5%)

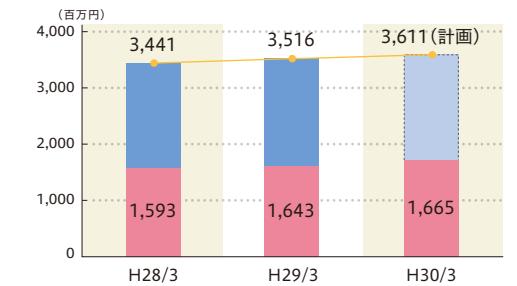
売上高

■ 通期
■ 第2四半期



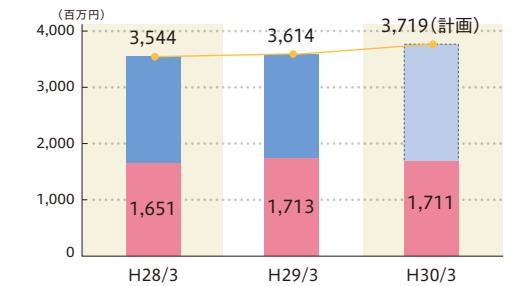
営業利益

■ 通期
■ 第2四半期



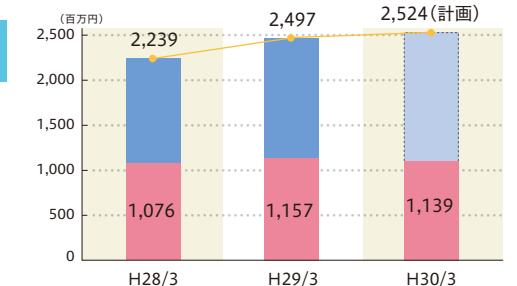
経常利益

■ 通期
■ 第2四半期



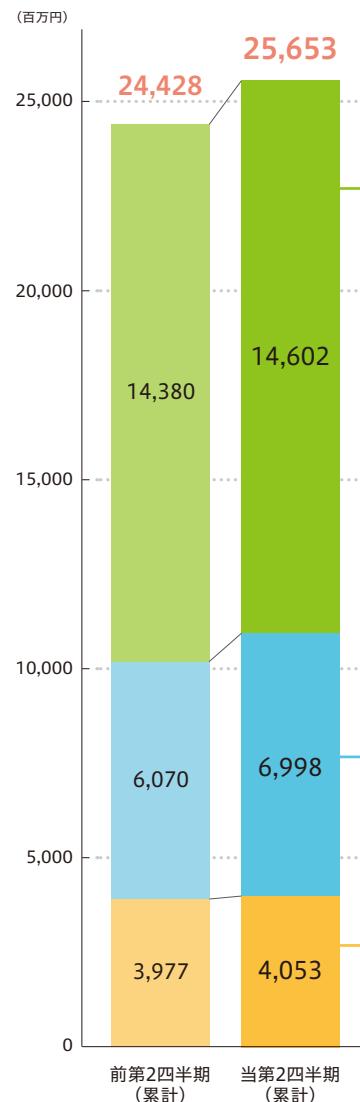
親会社株主に帰属する 当期純利益

■ 通期
■ 第2四半期



セグメント別業績

売上高



産業資材

146億2百万円(前年同期比 +1.5%)



国内建設市場は、民間・公共工事ともに堅調に推移し、建築・土木関連商材である物流荷役機器や鉄鋼二次製品、現場用品、ブレースなどが堅調に推移し、当セグメントの売上高は14,602百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

主な製品・商品

ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、コンテナバッグ 他



鉄構資材

69億98百万円(前年同期比 +15.3%)



鉄骨需要は、インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の需要の増加により、鉄構資材の主要商材である鉄骨部材やブレース、ハイテンションボルト、アンカーボルトなどが比較的堅調に推移し、当セグメントの売上高は6,998百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

ブレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、施工工事 他



電設資材

40億53百万円(前年同期比 +1.9%)



家庭向け太陽光発電設備関連の売上が増加し、当セグメントの売上高は4,053百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他



通期の見通し

平成30年3月期の連結業績予想

売上高
525億50百万円
(前期比 +4.2%)

営業利益
36億11百万円
(前期比 +2.7%)

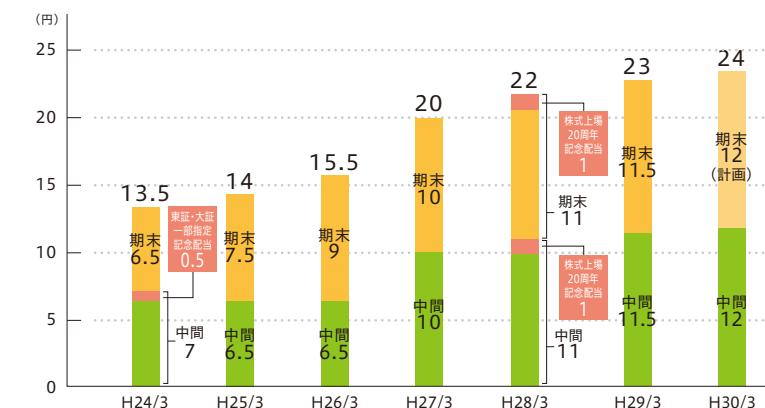
経常利益
37億19百万円
(前期比 +2.9%)

親会社株主に帰属する当期純利益
25億24百万円
(前期比 +1.1%)

配当金

当期配当(平成30年3月期)

中間配当 12円
期末配当予想 12円



(注)当社は平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、過及修正を行っております。

TOPIC 1 eコマースグループを新設

本年7月にインターネットを通じた販売形態を模索するため、「eコマースグループ」を新設いたしました。収益基盤を構築、並びに、企業体質の強化を図ってまいります。

| | |
|-----|-----------|
| 開設日 | 2017年7月1日 |
|-----|-----------|

TOPIC 2 沖縄駐在所を開設

本年10月に沖縄地域での営業力の強化並びにユーザーサポート体制の充実を図るため、新たに沖縄駐在所を開設いたしました。

今後も地域に密着した販売体制を整えてまいります。

| | |
|-----|-----------------------------|
| 所在地 | 沖縄県那覇市真嘉比二丁目20番14号 パレスツリー1階 |
| 開設日 | 2017年10月16日 |



TOPIC 3 IRフェア 出展

本年8月25・26日に開催されました個人投資家向けIRイベント「日経IR・投資フェア2017」(場所:東京ビックサイト)に出展いたしました。

総入場者数は累計約17,000名で、今回6度目の出展となった当社ブースへも、たくさんの皆様に足を運んでいただきました。

今後も個人投資家の皆様に向けた積極的なIR活動を展開していき、より一層の企業価値向上に努めてまいります。



TOPIC 4 統合報告書の発行

株主・投資家、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、当社グループの持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて、より一層ご理解いただけるよう、本年10月に「統合報告書」を新たに発行いたしました。

当報告書は、IRおよびCSRを所管とする総務部(人事課、企画課、総務課)と、営業施策を所管とする営業本部の、いずれも女性社員のみでプロジェクトメンバーを構成し、作成を進めました。

財務情報に加え、非財務情報である当社の価値創造モデルや、E(環境:Environment) S(社会:Social) G(ガバナンス:Governance)への取り組みについても、統合的にまとめております。なお、「統合報告書」は当社ホームページをご覧ください。



TOPIC 5 吊り具専門カタログ「ツリカタ」の発行

当社は「吊り具のコンドーテック」として、社内認定資格制度「吊り具アドバイザー」を立ち上げるなど、正しい吊り具の選定や使い方のPRを進めてまいりました。

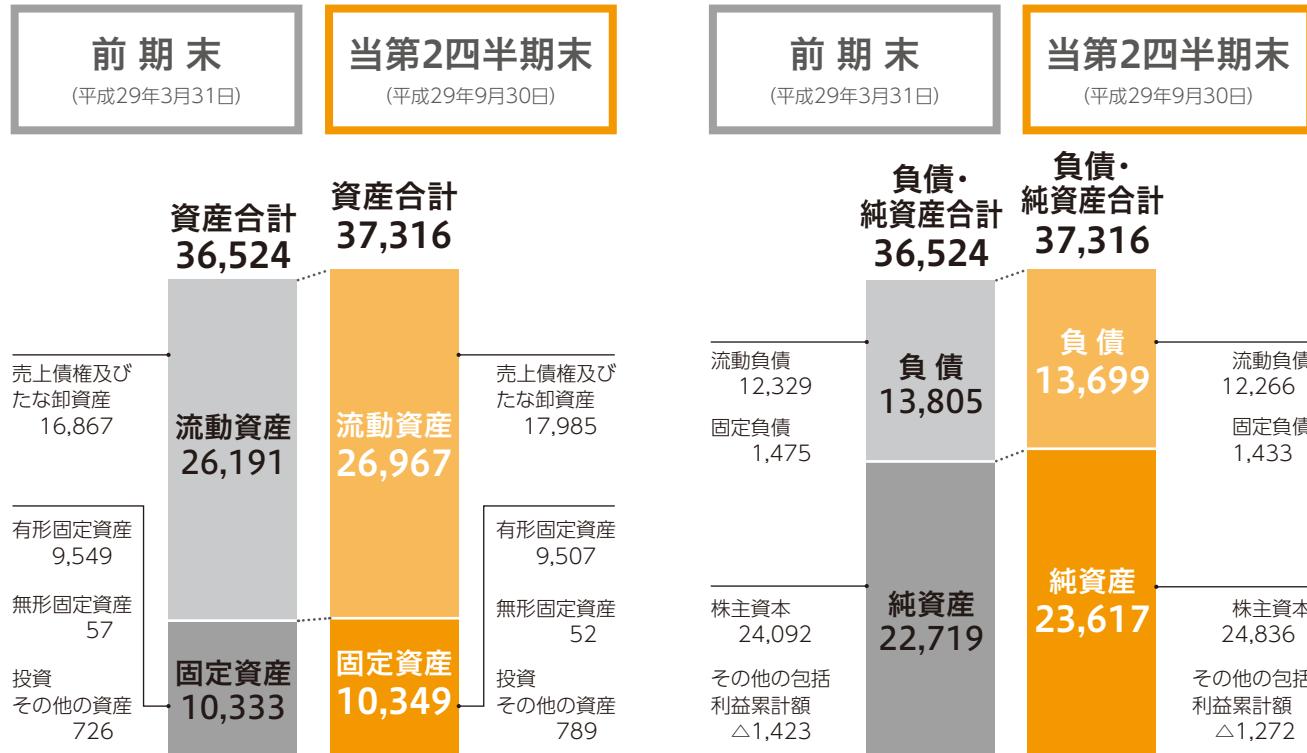
本年8月、その基礎知識から専門的なノウハウをふんだんに盛り込み、工場や現場で働く方をサポートする、吊り具専門カタログ「ツリカタ」を発行いたしました。

今後もユーザーのニーズに即した情報発信によるブランドイメージの向上及び製・商品の拡販を図ってまいります。



四半期連結貸借対照表の概要

(百万円)



流動資産

前期末と比較して、流動資産が775百万円増加の26,967百万円となりました。主な要因は、売上債権及びたな卸資産の増加等によるものです。

固定資産

前期末と比較して、固定資産が15百万円増加の10,349百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産の増加等によるものです。

負債

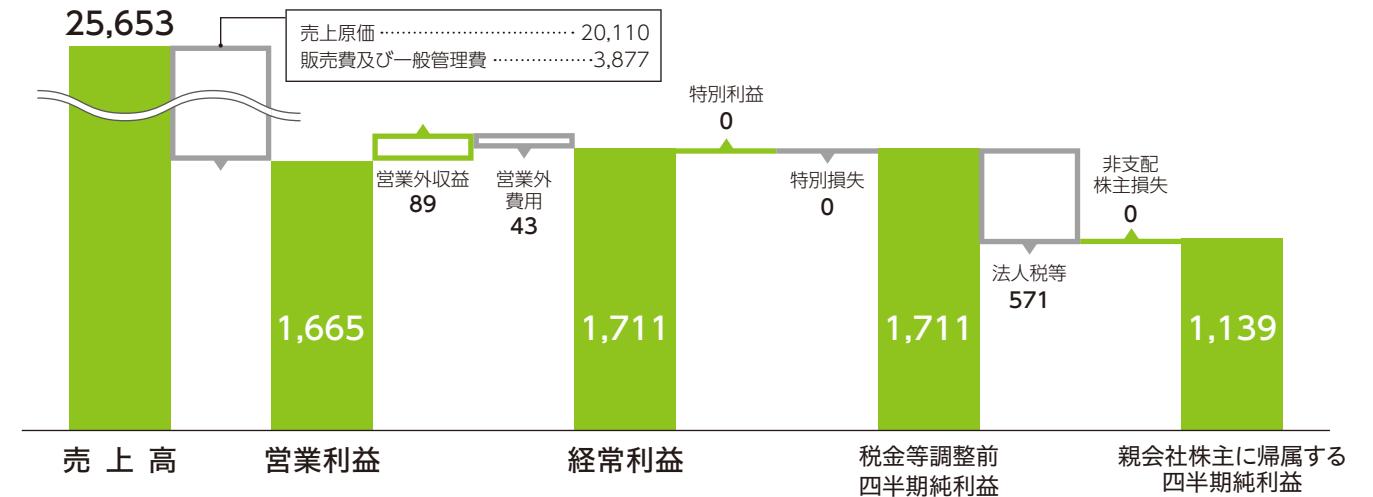
前期末と比較して、105百万円減少の13,699百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少等により、流動負債が減少したことによるものです。

純資産

前期末と比較して、897百万円増加の23,617百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当の支払い等による減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等で増加したことによるものです。

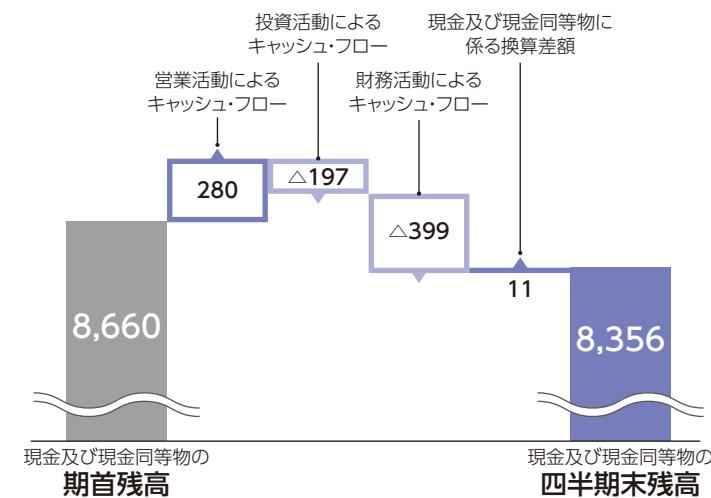
四半期連結損益計算書の概要

(百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加785百万円及びたな卸資産の増加271百万円、法人税等の支払い496百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1,711百万円、減価償却費の計上205百万円等により資金を獲得したことにより、280百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得209百万円等により、197百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

株式給付信託 (BBT) 開始に伴う自己株式の取得155百万円及び配当金の支払い308百万円等により資金を使用したことにより、399百万円の支出となりました。

会社概要

| | |
|-------|---|
| 社名 | コンドーテック株式会社 (英文名 KONDOTEC INC.) |
| 本社 | 大阪市西区境川二丁目2番90号 TEL 06-6582-8441(代表) |
| 東京本社 | 東京都江東区南砂一丁目9番3号 TEL 03-5634-2241(代表) |
| 設立 | 昭和28年1月14日 |
| 資本金 | 26億6,648万5千円 |
| 従業員 | 連結795名 単体650名 |
| 連結子会社 | 三和電材株式会社 KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd. 中央技研株式会社 |

(平成29年9月30日現在)

役員

| | |
|------------|-------|
| 代表取締役社長 | 近藤 勝彦 |
| 専務取締役 | 安藤 朋也 |
| 常務取締役 | 平田 茂 |
| 常務取締役 | 宮 晴夫 |
| 取締役 | 矢野 雅彦 |
| 取締役 | 鴫 泰広 |
| 取締役 | 矢田 裕之 |
| 取締役 | 高木 昭 |
| 取締役(社外取締役) | 金井美智子 |
| 取締役(社外取締役) | 大和正史 |
| 常勤監査役 | 河瀬 哲夫 |
| 監査役(社外監査役) | 村辻 義信 |
| 監査役(社外監査役) | 中川 雅晴 |

株式情報 | STOCK INFORMATION

株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 27,957,000株 |
| 単元株式数 | 100株 |

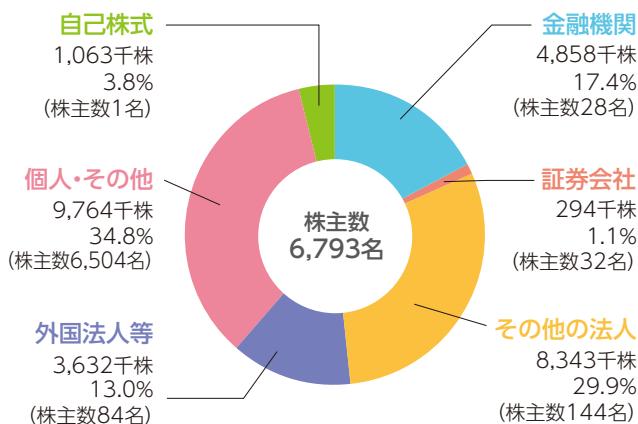
大株主

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--|---------|-------|
| 有限会社藤和興産 | 3,014千株 | 11.2% |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) | 1,642千株 | 6.1% |
| コンドーテック社員持株会 | 1,365千株 | 5.1% |
| 大阪中小企業投資育成株式会社 | 1,247千株 | 4.6% |
| 株式会社Fプランニング | 900千株 | 3.3% |
| 日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 819千株 | 3.0% |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 753千株 | 2.8% |
| 近藤 純位 | 752千株 | 2.8% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 708千株 | 2.6% |
| 株式会社藤登興産 | 676千株 | 2.5% |

(注)自己株式1,063千株(ESOP信託口30千株及びBBT信託口145千株を除く)は上記大株主には含まれておりません。また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

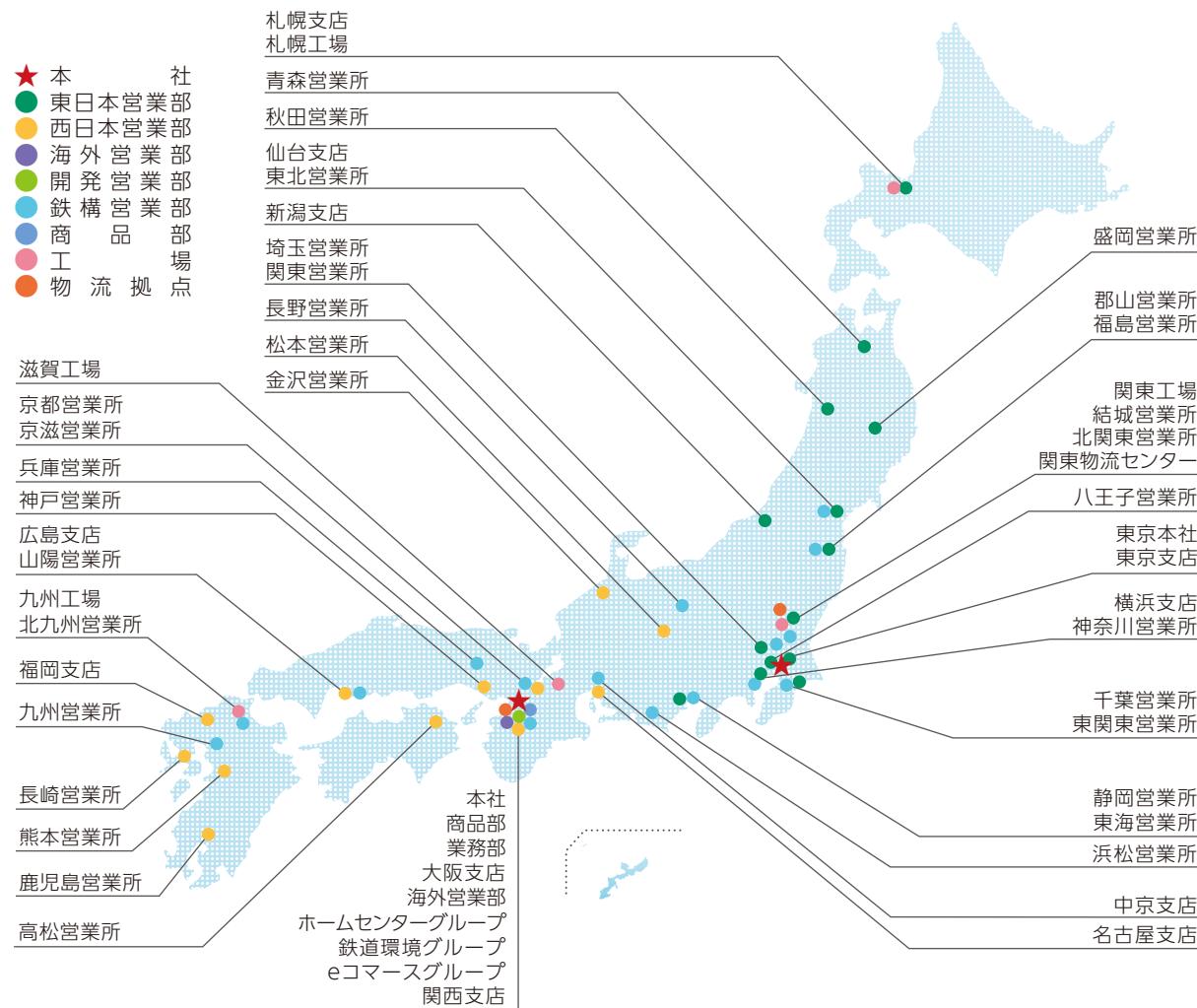
(平成29年9月30日現在)

所有者別株式分布状況



当社営業拠点・工場

(平成29年9月30日現在)



グループ会社

三和電材株式会社(本社 名古屋市西区) 営業所15ヶ所
KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd.(タイ・バンコク市)
中央技研株式会社(滋賀県犬上郡)

コンドーテックホームページのご案内

個人投資家の皆様に当社をご理解いただくため、当社の事業内容や強みをご紹介します「なるほど!!コンドーテック」をはじめ、さまざまなコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドーテック

検索

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日
定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

証券会社でお取引をされている株主様

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先
お取引のある証券会社になります。
※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- 電話お問い合わせ先 ☎0120-094-777 (通話料無料)
- お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



コンドーテック株式会社

平成29年11月発行 当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。



コンドーテックは低炭素社会実現のための国民的プロジェクト「Fun to Share」に加盟し、環境問題に取り組んでおります。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。